

北部機械金属業界の景況動向

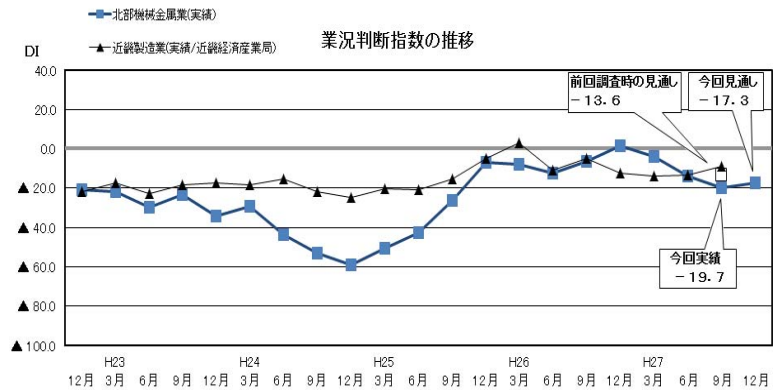
(2015年7~9月実績/2015年10~12月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業182社 【調査時点 平成27年9月下旬】
- 回答数：128社（回答率70.3%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:26、舞鶴市:19、綾部市:19、宮津市・与謝郡:12、京丹後市:52
 - ②取扱別 = 一般機械:44、電気機械:15、輸送機械:38、精密機械:11、その他:17、未回答:3
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:37、10~19人:27、20~49人:37、50~99人:13、100人以上:13、未回答:1
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

●7~9月実績のDI(業況判断指数)は -19.7となり、4~6月期(以下「前回」)より5.9ポイント低下した(前回-13.8)。地域別では、福知山市域は -11.6(前回-3.7)、舞鶴市域は-15.7(前回 -20.9)、綾部市域は-33.2(前回-38.9)、宮津市・与謝郡域は-50.0(前回-41.7)、京丹後市域は -13.5(前回 0.0)であった。このように、舞鶴市域が5.2ポイント、綾部市域が5.7ポイントDIが改善されたが、福知山市域、宮津市・与謝郡域、京丹後市域は落ち込む結果となった。



注：DI = (非常に良い + 良い) - (非常に悪い + 悪い)

●10~12月見通しのDIは-17.3と、前回より3.7ポイント低下した。(前回-13.6)。地域別に見ると、福知山市域は -7.6(前回0.0)、舞鶴市域は15.8(前回-26.3)、綾部市域は-47.4(前回-16.6)、宮津市・与謝郡域は-50.0(前回-41.7)、京丹後市域は-15.6(前回-8.1)であり、舞鶴市域以外は前回と比べて厳しい見通しとなっている。

景況動向判断 7~9月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	102	583	276	31	3.1
福知山市	11.5	65.4	23.1		
舞鶴市	5.3	73.7	15.8	5.2	
綾部市	5.6	55.6	33.3	5.5	
宮津・与謝		50.0	41.7	8.3	
京丹後市	15.4	51.9	28.9	1.9	

景況動向判断 10~12月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	13.4	55.9	28.3	2.4	
福知山市	11.6	69.2	19.2		
舞鶴市	26.3	63.2	10.5		
綾部市		52.6	42.1	5.3	
宮津・与謝		50.0	50.0		
京丹後市	17.7	49.0	29.4	1.9	

2 採算状況

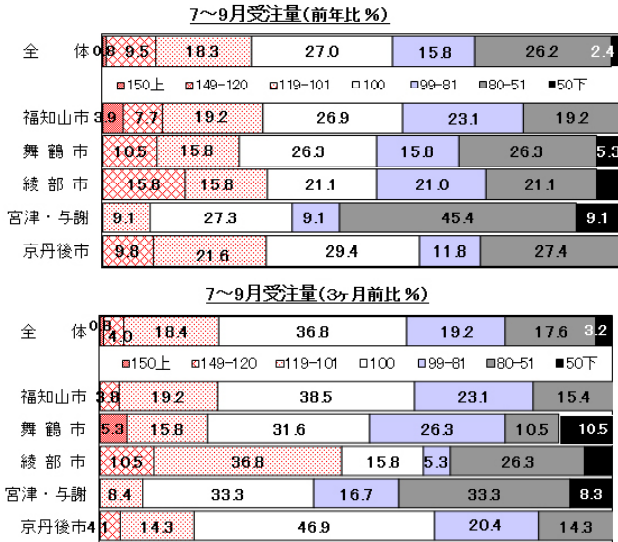
●7~9月の採算状況は、全体では、赤字とする企業が17.3%(前回18.5%)と1.2ポイント好転した。地域別では、福知山市域、綾部市域、京丹後市域は黒字とする企業が赤字とする企業を上回っており、舞鶴市域、宮津・与謝郡域では、赤字とする企業が黒字とする企業を上回っている。

7~9月採算状況

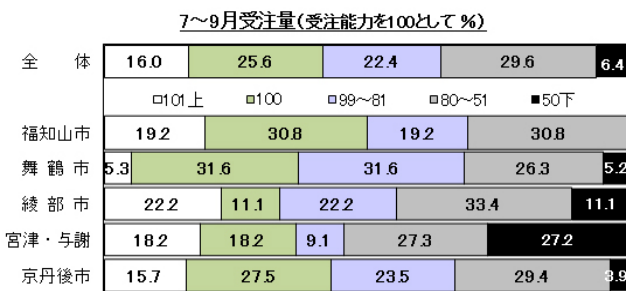
地域	黒字	トントン	赤字
全体	25.2	57.5	17.3
福知山市	30.8	57.7	11.5
舞鶴市	10.5	73.7	15.8
綾部市	21.1	57.9	21.0
宮津・与謝	8.3	50.0	41.7
京丹後市	33.3	53.0	13.7

3 受注量

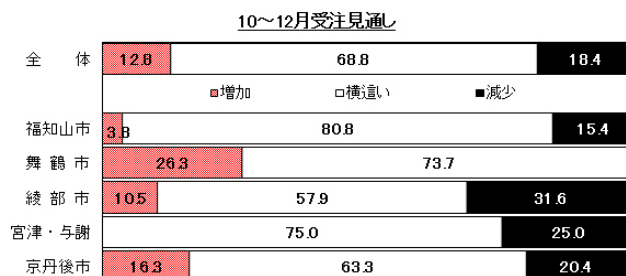
●7～9月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は55.6%（前回54.1%）と1.5ポイント増加した。対3か月前比100%以上を確保した企業は60.0%（前回51.7%）と8.3ポイント増加した。宮津・与謝郡域以外の地域で5割以上の企業が3か月前比100%以上の受注を確保している。



●7～9月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は41.6%（前回38.7%）と2.9ポイント増加した。福知山地域は5割の企業が受注能力100%以上の仕事を確保しているが、その他の地域は5割を割り込んでいる。

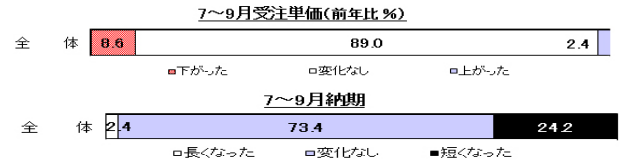


●10～12月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合は12.8%（前回13.8%）と1.0ポイント減少し、減少を見込む企業の割合は18.4%（前回17.9%）で0.5ポイント増加である。



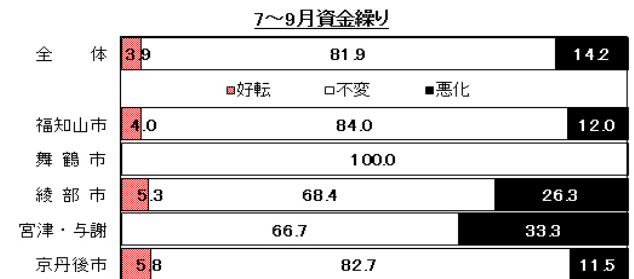
4 受注条件（受注単価／納期）

●受注単価が上がったとする企業は2.4%（前回1.7%）と0.7ポイント増加し、受注単価が下がったとする企業は8.6%（前回13.9%）と、5.3ポイント減少した。また、納期が短くなったとする企業は24.2%（前回25.2%）と1.0ポイント減少した。



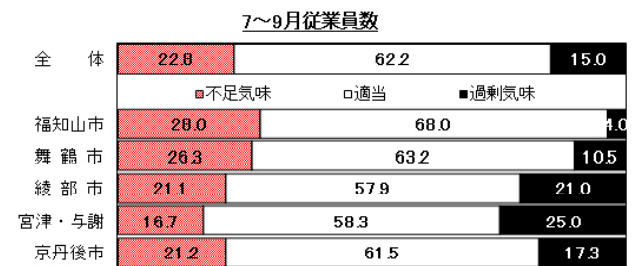
5 資金繰り

●資金繰りは、悪化とした企業が14.2%（前回14.5%）と前回より0.3ポイント減少した。舞鶴市域以外で悪化とした企業が好転とした企業を上回っている。



6 従業員数

●従業員数は、不足気味が22.8%（前回23.3%）、過剰気味が15.0%（前回12.5%）となった。宮津・与謝郡域以外は、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っている。



7 京都縦貫道全線開通の効果

●効果があるとした企業は40.3%であった。京丹後市域は、5割以上の企業で効果が出ている。

